

研修会報告

米国エネルギー省(DOE)専門家による核融合エネルギー (Fusion Energy) セミナー “Introduction to Fusion Energy and New Vision for DOE’s Fusion Energy Program”

講演者: 米国エネルギー省 (Department of Energy)

Scott C. Hsu 氏, Senior Advisor to the Under Secretary for Science and Innovation

Sam Wurzel 氏, Technology-to-Market Advisor at the Advanced Research Projects Agency-Energy (ARPA-E)

研修担当理事: 須内 康史

上坪 雄之

2024年2月16日(金)、ワシントン日本商工会は、米国エネルギー省(Department of Energy、DOE)の専門家である Scott C. Hsu 氏と Sam Wurzel 氏をお招きして、「核融合エネルギー」(Fusion Energy)についてオンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。



気候変動への対応が求められる現在、核融合エネルギーは脱化石燃料・脱炭素を実現する新しいエネルギー源として注目されています。今回の研修会では、まず核融合エネルギーの基本的な仕組みやメリットについて学びました。そして、最近の技術的な進展、それに伴う民間投資のトレンドについて紹介いただいたうえで、米国政府の掲げる核融合エネルギーに関するビジョンやエネルギー省が取り組んでいる開発プログラムについてお話いただきました。

また、核融合エネルギーの普及に向けては商業化の実現がカギとなってくる中、民間部門における核融合エネルギーの技術開発の事例や、この分野におけるサプライチェーンの仕組みと機会について解説いただきました。



講演後に行われた質疑応答では、燃料供給の課題、核融合エネルギーに関する規制・許認可の動向、将来のエネルギーミックスの見方など活発な意見交換がなされ、新しいエネルギー源として注目を集める核融合エネルギーについての理解を深めたいへん貴重な機会となりました。

また今回の研修会では、米国政府の専門家の方々をお招きすることができ、日米両国間の交流の一つの場を提供できたことを研修担当理事として大変喜ばしく感じております。今回の研修の実現にご協力いただきました

エネルギー省の講師の方々及び関係各位の皆様に、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

以上

